

ひかりの森合宿入院 の ご案内



兵庫県立
ひょうごこころの医療センター

目的

学校や社会の中で傷つき、生活全体がうまくいかなくなっている、不登校や引きこもりの子どもが、子どもの集団や院内学級のなかで自分自身を取り戻していくことを目指します。

対象

自分の考えで入院を希望し決断できる中学1年生から中学3年生までの子どもが対象です。当院の児童精神科医師が外来で診察をした上で、プログラム参加が可能かどうか判断します。

合宿入院に参加頂くには、入院期間中のみ、兵庫県立上野ヶ原特別支援学校ひかりの森分教室への転校手続きが必要です。

募集人員

3名以上

期間

参加希望者数がそろったらスタートします。原則1クール3ヶ月ですが、学期末にかかる場合などは、期間が若干変動する場合があります。

場所

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 東2病棟

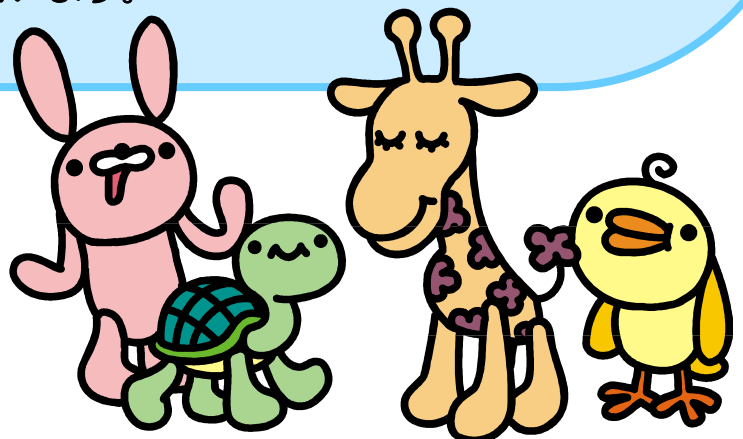
費用

入院費用（健康保険が適用されます）とおやつや生活必需品やレクリエーションなどの費用をご負担いただきます。世帯の収入や健康保険の種類などによっては費用は異なりますので、詳細は当院の地域医療連携部にお問い合わせください。



治療内容

1. 生活リズムの獲得
病棟内での生活は、起床、消灯、食事などの時間が決められているので、規則正しい生活リズムを身につけることができます。
2. 同年代の仲間関係での傷つきからの回復
引きこもり、不登校といった同じような悩みを抱えた子ども達と一緒に生活し、課題に取り組み、遊ぶことで、「同年代の仲間を作れた」という達成感と自信を取り戻していきます。スタッフがその過程を見守り、援助することで、関係作りを行っていきます。具体的には遊び、スポーツ、制作、料理、ソーシャルスキルトレーニングなどの集団活動の場を活用します。
3. 大人への信頼感を取り戻す
学校や社会の中で傷ついた子どもは大人への信頼感も失っています。以下のような方法で大人との信頼関係を作ります。
 - ・看護師からの日常生活の助言、介助を通して。
 - ・看護師、作業療法士、臨床心理士との遊びや活動を通して。
 - ・学校の先生との少人数授業を通して。
 - ・医師、臨床心理士との、自分と他人の気持ちや考えについての理解を深める作業を通して。
4. 学校への恐怖心、嫌悪感の治療
「学校」、「先生」、「学業」、「テスト」などの言葉やイメージに対して恐怖心、嫌悪感を持つ子どもも少なくありません。こういった子どもも、一見普通の学校らしくない当院の分教室で先生との密接な関わりを進めていくことで、学校に対する安心感を取り戻していきます。
5. 薬物治療
睡眠リズム障害や不安やかんしゃくなどの症状に対して、必要があれば主治医が薬物治療を提案し、保護者の方とご本人の同意の下で実施していきます。
6. 退院後の連携
入院中に得られた子どもとの上手な関わり方や過ごしやすい環境の整え方などを、元の学校など子どもと関わる機関に学んでもらいます。また、すぐにクラスに戻ることが子どもの負担になると判断される場合には、クラス以外の居場所作りを学校と話し合います。



子どもの親の声

他の病院で行なわれた不登校児童むけの合宿（当院が参考にさせていただいたもの）を経験した子どもと親の声です。

- 「仲間と一緒に遊んだり学んだりできたのは楽しかったけど、悩み事を相談したり困ったことを一緒に解決できたのが一番うれしかった。」中3男子A君
- 「朝どうしても起きられなかったんだけど、入院して仲間と一緒にいたら起きられるようになった。」中3男子B君
- 「友達づきあいのことで悩んでいたのは自分だけではなかったんだ！」
中2女子Cさん
- 「夜中までゲームして、ちっとも学校に行けなかったんですが、合宿の後は、学校に行くようになりました。ゲームはしてますけど、夜10時には何も言わなくても自分でやめてくれます。」中3男子D君の母

ひかりの森合宿入院の申し込み手順

1. 地域医療連携部に電話して、外来受診の申し込みを行ってください。その際に「ひかりの森合宿入院希望」とお伝えください。日時が決定したら病院からご連絡します。
2. 児童精神科医師による外来診察を受けて、病棟見学を行います。そして、本人の合宿に参加する意思を外来で確認します。
3. 合宿に参加する人数がそろったら電話でご連絡します。この時点で合宿に参加する意思を再確認します。
4. 開始日に病棟へお越しください。
5. 上野ヶ原特別支援学校ひかりの森分教室への転校手続きを行っていただきます。

【お問い合わせ】

兵庫県立ひょうごこころの医療センター
地域医療連携部
専用ダイヤル番号 078-940-5510

